

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり4.39人の報告がありました。減少傾向ですが、学校や高齢者施設等での集団発生が続いています。手洗い、こまめな換気、効果的な場面でのマスク着用など、基本的な感染対策を徹底しましょう。

2 インフルエンザ

定点当たり4.83人の報告があり、前週と比べるとほぼ横ばいです。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖が7件報告されています。手洗い、咳エチケット、換気などの感染予防対策を心がけましょう。

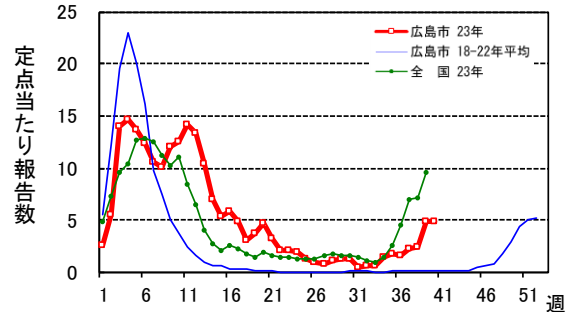
3 手足口病

定点当たり3.42人の報告があり、多い状況が続いています。手洗いの励行、オムツの適切な処理などの感染予防対策を心がけましょう。

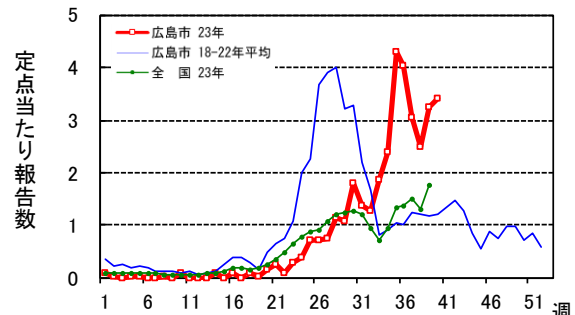
4 ヘルパンギーナ

定点当たり1.67人の報告があり、前週と比べるとほぼ横ばいです。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

インフルエンザの流行状況



手足口病の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
												↑	↓	
インフル	インフルエンザ	174	4.83	0.09	⇒	小児科	ヘルパンギーナ	40	1.67	0.65	⇒	⇒	⇒	ほとんど増減なし
	新型コロナ(COVID-19)	158	4.39	△	⇓		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.09				
小児科	RSウイルス感染症	4	0.17	0.80		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03				
	咽頭結膜熱	12	0.50	0.19			流行性角結膜炎	9	1.13	0.53				
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	2.21	0.99	⇒	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03				
	感染性胃腸炎	52	2.17	2.65	⇒		無菌性髄膜炎	-	-	-				
	水痘	1	0.04	0.10			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06				
	手足口病	82	3.42	1.20	⇒		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	伝染性紅斑	-	-	0.12			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-				
	突発性発しん	4	0.17	0.23										

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	レジオネラ症	3	31	50歳代・推定感染地域: 国外、70歳代、80歳代
5	急性脳炎	1	4	10歳未満
5	梅毒	4	226	20歳代・3人、50歳代・1人

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	感染症																						
		インフルエンザ	新型コロナウイルス(COVID-19)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	球菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎		
第36週	56	536	9	6	64	68	7	97	-	4	24	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
第37週	79	434	8	7	53	56	1	73	-	6	27	1	-	5	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
第38週	87	330	6	12	48	49	1	60	-	9	25	2	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
第39週	175	269	4	12	49	51	1	78	-	4	42	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
第40週	174	158	4	12	53	52	1	82	-	4	40	1	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
定点当たり	広島市	1.56	14.89	0.38	0.25	2.67	2.83	0.29	4.04	-	0.17	1.00	-	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
第36週	2.19	12.06	0.33	0.29	2.21	2.33	0.04	3.04	-	0.25	1.13	0.04	-	0.63	-	-	-	-	0.14	-	-	-	-	
第37週	2.42	9.17	0.25	0.50	2.00	2.04	0.04	2.50	-	0.38	1.04	0.08	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
第38週	4.86	7.47	0.17	0.50	2.04	2.13	0.04	3.25	-	0.17	1.75	-	-	0.63	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
第39週	4.83	4.39	0.17	0.50	2.21	2.17	0.04	3.42	-	0.17	1.67	0.04	-	1.13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
第40週	7.09	11.01	0.24	1.32	1.36	2.52	0.08	1.32	0.02	0.20	0.56	0.05	0.01	0.68	0.02	0.02	0.04	-	-	-	-	-	-	
全国	第38週	9.57	8.83	0.23	1.81	1.97	3.09	0.10	1.77	0.01	0.25	0.68	0.05	0.02	0.89	0.02	0.02	0.04	-	-	-	-	-	
第39週																								

■ 新たに判明した病原体検出状況

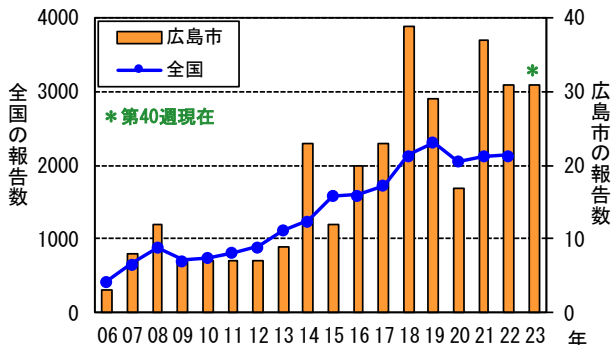
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.0°C) 気管支炎 鼻炎	7	2023/08/18	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型
インフルエンザ	発熱(40.0°C) 鼻炎	7	2023/09/05	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
咽頭結膜熱	発熱(38.7°C) 結膜炎	3	2023/08/08	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂	26	2023/08/14	結膜擦過物	アデノウイルス64型
その他の神経系疾患	脊髄炎 麻痺 吐き気	8	2023/08/31	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるレジオネラ症の発生動向について

レジオネラ症年間報告数の推移



今年の累計は31件となり多い状況です。

レジオネラ症は、レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(細かい水のしぶき)の吸入などによって感染する細菌感染症です。病型の一つであるレジオネラ肺炎は、2~10日の潜伏期間の後、咳、38°C以上の高熱、悪寒、胸痛、呼吸困難などの症状が出現し、適切な治療がなされなかった場合には命にかかわることもあります。高齢者や新生児、免疫機能が低下している人は、肺炎を起こす危険性が高く、特に注意が必要です。

国内では、循環式浴槽、加湿器、冷却塔、入浴施設などによる感染事例の報告があります。これらの維持管理を適切に行い、レジオネラ属菌の繁殖を防ぐことが大切です。また、土ぼこりを吸い込んで感染することもあるため、必要に応じてマスクを着用しましょう。

【参考】レジオネラ症Q&A(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_00393.html



新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の相談窓口

発熱時等の受診相談「受診案内・相談ダイヤル」

TEL 082-241-4566

(24時間対応)

療養者からの相談「療養者相談ダイヤル」

TEL 0570-000-510

(健康相談 24時間、一般相談 8:30~18:00)

「新型コロナウイルス感染症に関する情報」(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp